

第17回ノースアジア大学文学賞

第17回ノースアジア大学文学賞は、8月16日(金)をもちまして応募締切とさせていただきます。

今年も全国各地から、沢山の作品のご応募がありました。数多くの珠玉の作品をご応募いただき、誠にありがとうございました。

今年度は11月9日(土)に、「第17回ノースアジア大学文学賞授賞式・記念コンサート」を開催いたします。どうぞお誘い合わせの上、お越しくださいますようお願い申し上げます。

選考内容

部門

I 高校生の部門

エッセイ(自由作品)の部

- ◎最優秀賞…賞状と記念品(5万円相当の旅行券)
- ◎優秀賞…賞状と記念品(3万円相当の旅行券)
- ◎選考委員特別賞…賞状と記念品(9千円相当の図書券)
- ◎学校賞…賞状と記念品

II 大学生・一般の部門

①エッセイ(自由作品)の部

②短編小説の部

- ◎最優秀賞…賞状と記念品(5万円相当の旅行券)
- ◎優秀賞…賞状と記念品(3万円相当の旅行券)
- ◎選考委員特別賞…賞状と記念品(9千円相当の旅行券)

※それぞれの部で優秀賞は複数選びます。

※短編小説の部は、大学生・一般の部門のみの募集となります。

※特に優れた作品を応募された高等学校には、学校賞を送ります。

◇第16回ノースアジア大学文学賞授賞式 記念写真◇



ノースアジア大学文学賞授賞式

主催 ノースアジア大学総合研究センター 後援 秋田県・秋田県教育委員会



令和5年11月18日(土) 於 ノースアジア大学古田記念講堂

第17回ノースアジア大学文学賞授賞式・記念コンサート

文学賞授賞式

開催日時 11月9日(土) 午後1時00分～2時15分 (開場12時30分) 授賞式

会場 ノースアジア大学 古田記念講堂

◆◆文学賞選考委員&文学賞へのメッセージ◆◆



内館 牧子

プロフィール

現職
脚本家
ノースアジア大学教育諮問委員
ノースアジア大学
総合研究センター客員教授

履歴
武蔵野美術大学 卒業
東北大学大学院 文学研究科修了
NHK大河ドラマ「毛利元就」・NHK連続テレビ小説「ひらり」・TBSドラマスペシャル「塙の中の中学校」他多数のテレビドラマの脚本を手掛ける。

「下手でかまいません」

とにかく、まずは書いてみることです。よく「書きたいが、書き方がわからないので書けない」と言う人とお会いします。

おそらく、こう言う人の圧倒的多くは、ずっとこう言い続けて年齢を取るのです。「若い頃は書きたかったんだ」と言って。それでは何も始まりません。「今」を生かして欲しいと思います。

今、胸にあること、旅先で出会ったこと、家族のこと、これからの夢、どんなことでもまずは書いてみて下さい。「書き方」と言いますが、ものを書くことは教わっても修得できないジャンルです。修得できるのは、原稿用紙の使い方とカールールくらいでしょう。これらは今、ネットでも本でもわかりますし、それが最重要ということではありません。

まずはぜひ、書き出してみてください。文章や構成が下手でも、書きたかったことへの熱量が、選考委員をそして読者を動かすことは、確かにあるのです。



塩野 米松

プロフィール

現職
作家
聞き書き甲子園最終選考委員
秋田文学賞選考委員
ノースアジア大学客員教授

履歴
秋田県仙北市角館町生まれ
東京理科大学理学部 卒業
法隆寺の棟梁西岡常一、小川三夫、その弟子達、3代の宮大工達の聞き書き「木のいのち木の心」をはじめ職人、森人、漁師達の聞き書き多数。
芥川賞候補4回。絵本「なつのいけ」(絵・村上康)で、日本絵本大賞受賞。

「紋切り型をやめ、独自の作品を」

茶碗やお皿などの陶器作りには二つの方法があります。一つは型に陶土を詰め込み、それを抜き出す方法です。もう一つは土を捏ね、ろくろなどで形を作って、仕上げはヘラなどで削っていきます。型を使えば大量に速く作ることができますが、面白みがありません。機械の仕事です。

みなさんのエッセイや小説は世界に一個しかない手作りの作品です。その時に紋切り型の言葉を使うと粘土を型にはめるのに似ています。既成の型を使ったのでは「自分の作品」を作ることできません。作品の核になるのは、日常の中で見つけた小さな事象や出来事です。気づいたこと。それをどう書くか悩み、言葉を選び、書き上げるのです。悩みは個性を創り出します。手間は味を生み出します。型にはまらぬあなただけの作品を待っています。

【故石川好先生ご逝去に伴う文学賞の選考並びに先生への御礼と文学賞へのメッセージ】

第17回ノースアジア大学文学賞選考委員の石川好先生は今年8月19日にご逝去されました。謹んでお悔やみ申しあげますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

したがって、第17回ノースアジア大学文学賞は、内館牧子先生と塩野米松先生によりご選考していただきました。

なお、生前、石川好先生より、第17回ノースアジア大学文学賞には、次のようなメッセージをいただいております。このメッセージを拝見しながら、先生の御霊の安らかなることを祈り、先生への御礼の言葉とさせていただきます。

「投稿者の皆様へ

第17回目を迎える「ノースアジア大学文学賞」は、秋田県内のみならず日本各地の文芸愛好家の方々からも知られる存在となっている。毎年数百を超す投稿作品と向かい合い、作品を評価するのは正直いってかなり難儀な作業である。にもかかわらず、選者の一人を続けているのは、いつも、良い作品に出会えることを楽しみにしているからだ。

今年のNHK大河ドラマでは世界文学ともいわれる「源氏物語」の作者紫式部が主人公の「光る君へ」が放映されている。本文学賞の受賞者の名が発表される頃、大河ドラマもエンディングに向けてストーリーが盛り上っているだろう。

さて今頃は、本年度の「文学賞」投稿規定も決まり、投稿者におかれても何を書こうか、と考えはじめておられるだろう。選者の一人として投稿者の方々に一言申し上げたい事があります。

三人の選者のうち、内館牧子さんは脚本家、作家として多くのベストセラーを書かれ、また塩野米松さんは芥川賞候補作家であり、すぐれた小説や日本の職人についてのすばらしいルポルタージュを書かれている。このお二人に囲まれての選考会は本当に楽しい。投稿者の皆様、本年も私たち選者を大いに楽しませて下さい。」

第17回ノースアジア大学文学賞授賞式・記念コンサート

記念コンサート

開催日時 11月9日(土) 午後2時30分～3時30分 (文学賞授賞式終了後)
多少時間が変動することがあります。あらかじめご了承ください。

会場 ノースアジア大学 古田記念講堂

出演 ノースアジア大学吹奏楽部・ノースアジア大学明桜高等学校吹奏楽部



令和5年11月18日(土) 於 ノースアジア大学古田記念講堂

<演奏予定曲目>

- ・ 歌劇「ローエングリン」より
第二幕“エルザの大聖堂への行列” R. ワグナー
- ・ とんりのトトロ～コンサートバンドのためのセレクション
久石 譲
他

コンサート開催に向けて



ノースアジア大学吹奏楽部・ノースアジア大学明桜高等学校吹奏楽部

【メッセージ】

明桜高校の教諭として、この文学賞に応募する生徒達の作品を毎年添削する中で、応募者それぞれのドラマを感じ、楽しく読ませていただく時間が夏休みの風物詩となっています。記念コンサートにおいては毎年、文学に関する曲目を選曲するように心がけています。今年はR.ワーグナーの歌劇「ローエングリン」より第2幕のラストの場面で演奏される、“エルザの大聖堂への行列”を演奏させていただきます。エルザの婚礼のシーンではありますが、様々な思いが錯綜し、麗しい旋律や不安な旋律、そして最後には原曲通り、ローエングリンのライトモチーフも流れる、壮大なアレンジとなっています。演奏するまでにこの作品の魅力を生徒達と共有しながら合奏を進めて参りました。ノースアジア大学文学賞において入賞された皆様をお祝いし、心を込めて演奏させていただきます。

ノースアジア大学吹奏楽部
ノースアジア大学明桜高等学校吹奏楽部
顧問 石崎聖也